

春の火災
予防運動

『消さないで あなたの心の 注意の火。』

(全国統一防火標語)

くんだり、逃げ遅れから死につながります。地域の防災訓練に家族ぐるみで毎回参加し、訓練の重ねで体に覚えこませることで速く確実な対処ができるようになり、避難時期も的確に判断できるようになります。

●改善しよう！生活の中での「危険な習慣」

火災の多くが「ついワッカリ...」「このくらいなら大丈夫...」など「危険意識の欠如」や「慣れからくる過信」などの人的要因から発生しています。「寝たばい」は絶対にしない、「させない」「揚げ物中にはその場を離れない」「ストーブを衣類乾燥に使ったり、点けたままで就寝しない」「給油はいつたん火を消してから」などの危険な生活習慣を改善することで、出火危険の90%以上は回避することができま。

●「防災訓練経験」がパニックを防いでくれる

火災という異常事態の中では、いつも

●実際の火災を想定した「避難訓練」の実践

実火災では、自分の手の先も見えないほどの煙の中を逃げます。「1階の台所から出火」「就寝中に2階の寝室から」など様々な場所での出火を想定し、目隠し、手探りで避難する訓練を行うことも必要です。避難口の上に物が...「障害物でドアが開かない」などの不備は、直ちに改善することが必要です。

●火災から「大切な命」を守るために「住宅用火災警報器を設置しましょう」

消防法の改正に伴い、新築住宅では平成18年6月1日から、既存住宅においては平成23年6月1日 から共同住宅を含む全ての住宅に対して住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

住宅用火災警報器 悪質な訪問販売等にご注意を！

住宅用火災警報器の設置義務化を契機として、不適正な価格・無理強い販売などを行う業者にご注意ください。消防職員が火災警報器を直接販売することはありません。住宅用火災警報器は、クーリング・オフの対象であり、契約後一定の期間は契約の解除が認められています。悪質訪問販売と疑わしい事例に遭遇した場合は、市の消費生活相談窓口にご相談してください。

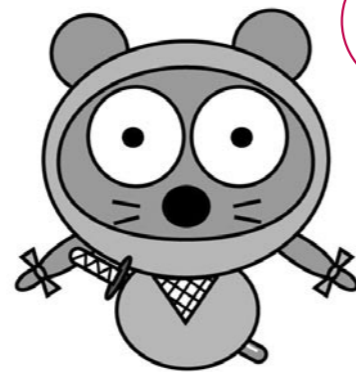
甲賀市消費生活相談窓口 TEL65-0685 FAX63-4582

住宅用火災警報器に関するお問い合わせは、最寄りの消防署か [住宅用火災警報器相談室 (0120-565-911)] へご相談ください

甲賀市内商工会女性部の

イメージキャラクターが

決定



甲賀市内商工会女性部

市内5町の商工会女性部が取り組みを進められ、このたび共通のイメージキャラクター(上図)が決定しました。

このイメージキャラクターは市内女性部員の連帯感を高め、また広く市民の皆さんに可愛がってもらえるような図案を商工業に携わる女性の感性を生かし作ろうと、平成18年度提案公募型ブロック事業として実行委員会で検討、決定したものです。

この忍者の衣装をまとったおさげ髪のためきのステッカーが、今春には市内の女性部員のお店や事業所に登場します。

問い合わせ
商工観光課 商工振興係
☎65-0707 FAX 63-4087



様式が一部変更されることになった旧券(写真は水口町版)

し尿くみとりシステムの事務改善に先だち、2月末日での「し尿くみとり券」(旧券)の販売枚数の確認を行います。

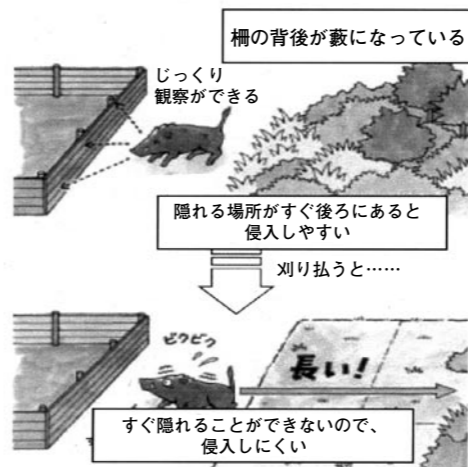
つきましては、平成19年3月1日販売分から「し尿くみとり券」の様式を一部変更させていただきますので、現在お手持ちの「し尿くみとり券」(旧券)を先にご利用ください。

※料金や券の基本色及び券種に変更はありません

問い合わせ
甲賀広域行政組合衛生センター
☎62-0809 FAX63-2449
甲賀市環境課
☎65-0690 FAX63-4582

鳥獣害対策 ニュース 5

今回は防護柵の設置のポイントについてご紹介します。



畑のまわりを2~3m刈り払うだけでも効果があります。

■電気柵の設置のポイント

- 柵の背後が藪になっていないように注意する。
- 電圧を常に確認する。
- 雑草による漏電に注意する。

- 点検をしない電気柵は無いに等しいので、電気柵の管理体制が必要で。
- アースをきちんととる。
- 地面と足の間にアスファルト等絶縁物がある場合は感電しにくいので、アスファルトから離して電気柵を設置する等の工夫が必要で。

- 線の高さを考える

▼ イノシシ・シカであれば最下線は地上から20cmとしてください。最高線はイノシシで最低60cm以上、シカで最低120cm以上が必要で。

■シカ用防除柵のポイント

アミやワイヤーメッシュなどで実際に隙間があるともぐり込んで侵入するので、設置面をベグやアンカーでしっかりと留めることが必要で。

■イノシシ用防除柵のポイント

いくつかの防除方法を併用し、それぞれの弱点を補うように設置することが必要で。

例① ネットとトタンを併用することで農作物が見えにくく、破られにくくする。

例② 奥行きがあると飛び越えずに潜りぬけようとするので、電気柵の内側にトタンを設置する。

問い合わせ 農業振興課 鳥獣害対策係
☎65-0734 FAX 63-4592